

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立港区民センター、大阪市立港近隣センター
施設所管課・担当	港区役所協働まちづくり推進課（市民活動推進グループ）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与する。
業務の概要	(1) 貸館運営業務 (2) 施設総合管理事務
成果指標	利用率、利用者満足度
数値目標	利用率 港区民センター：82.9％ 港近隣センター：51.8％ 利用者満足度 港区民センター：80％ 港近隣センター：80％
指定管理者名	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日（港区民センター：令和 6 年 3 月 31 日）
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	港区民センター		港近隣センター	
	利用率	利用者満足度	利用率	利用者満足度
数値目標	82.9%	80.0%	51.8%	80.0%
年度実績	69.8%	94.1%	42.0%	97.8%
達成率	84.2%	117.6%	81.1%	122.3%

利用状況（港区民センター）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	102,825	99,537	3,288
利用率	69.8%	65.7%	4.1%

利用状況（港近隣センター）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	37,096	36,540	556
利用率	42.0%	39.8%	2.2%

3 収支状況（2 館一括）

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	40,932,976	41,565,923	4,161,976	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う消毒薬等の消耗品費の補填 ・電気及びガス代等のエネルギーコスト高騰に伴う経費の補填 ・水道料金の膨張に伴う経費の補填
	計画	36,771,000	36,753,000		
利用料金収入	実績	16,972,640	16,510,460	-1,762,360	
	計画	18,735,000	18,385,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	4,130,180	3,446,410	809,580	
	計画	3,320,600	3,933,300		
合計	実績	62,035,796	61,522,793	3,209,196	
	計画	58,826,600	59,071,300		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	37,312,926	34,755,504	1,144,800	職員の処遇改善等及びベースアップ
	計画	36,168,126	34,755,504		
物件費	実績	23,650,363	23,591,469	3,815,121	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う消毒薬等の消耗品費の増加 ・電気及びガス代等のエネルギーコスト高騰に伴う経費の増加 ・水道料金の膨張に伴う経費の増加
	計画	19,835,242	20,382,496		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	4,567,269	3,601,329	2,356,519	
	計画	2,210,750	2,729,100		
合計	実績	65,530,558	61,948,302	7,316,440	
	計画	58,214,118	57,867,100		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率（港区民センター）	84.2%	C	
利用者満足度（港区民センター）	117.6%	A	
利用率（港近隣センター）	81.1%	C	
利用者満足度（港近隣センター）	122.3%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・軽微な修繕については、指定管理者職員自ら行うことで、経費の削減に努めている。 ・待機電力の削減、不要な照明・空調等をこまめに消すなど光熱水費等の経費削減に努めている。 ・コピー用紙の裏面再利用など消耗品の節約に努めている。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	A	・ SNS の活用や施設の紹介を主としたおたよりの作成など新規利用者の獲得を目指した取組を実施している。 ・ 地域に居住する外国人との多文化共生の取組として市岡日本語教室を開催し、外国人の地域コミュニティへの参加の促進を図っている。 ・ 和室の利用率向上のため、撮影機材セットを設置し、子育て世代を中心に利用促進に努めている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

【実施方法】 アンケート形式
【実施期間】 第 1 回 令和 5 年 9 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日 第 2 回 令和 6 年 3 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
【回答数】 第 1 回 200 件 第 2 回 202 件
【アンケート項目】 「予約方法」、「利用した部屋」、「利用満足度」、「検討した貸室サービス」、「施設を知ったきっかけ」、「利用する決め手」 （※「施設を知ったきっかけ」、「利用する決め手」は初めてご利用の方のみ）
【結果】 利用満足度について、「①予約までの流れ」、「②スタッフの対応」、「③施設の清掃状況」、「④備品や設備」、「⑤ホームページの分かりやすさ」の項目別に検証を行い、①～⑤の項目について、両センターとも概ね満足度が高いことが確認できる。 また、「③施設の清掃状況」の項目においては、港区民センターが他の項目より低くなっているが、第 1 回目の評価を受け、清掃を定期的に実施したことにより、第 2 回では少しではあるが評価を得ていることが確認できる。

6 外部専門家意見

・施設の有効利用として、SNS を活用した取組や外国人向けの事業の実施等、指定管理者の取組として評価できる。 ・成果指標としている利用者満足度においては達成率が高いため、数値目標の見直しを検討されたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B+	施設の有効利用や新規利用者の獲得を目指した取組を評価
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	